

【資料】

第3回森林遺伝育種学会総会議事録および

第3回森林遺伝育種学会シンポジウム報告

森林遺伝育種学会事務局

第3回森林遺伝育種学会総会議事録

日時：2014年3月30日（日）9：15～9：35

場所：大宮ソニックシティ市民ホール 第3集会室

出席役員等：白石進、井出雄二、吉丸博志、石井克明、戸丸信弘、渡辺敦史、吉村研介、後藤晋、西川浩己、井城泰一

議長：高田克彦

議題：

第1号議案 平成25年度事業報告および決算報告

井出理事により、別紙1の通り、平成25年度事業報告が説明され、満場一致で承認された。石井理事により、別紙2の通り、平成25年度決算報告が説明され、後藤監事により、適正に処理されていたと報告があった。その上で、平成25年度決算について、満場一致で承認された。

第2号議案 平成26年度事業計画および収支予算

吉丸理事により、別紙3の通り、平成26年度事業計画が提案され、満場一致で承認された。また、収支予算についても同様に承認された（別紙4）

第3号議案 会則の改正

井出理事により、「第5条 役員」で、これまで会則に記載されていなかった「主事」を明記すること、「第6条 役員の選出と任期」で、新たに明記する主事は、他の理事と同様に会長が会員中より指名すること、任期は2年とし、再任を妨げないこと、とする会則の改正が提案され、満場一致で承認された。

第4号議案 役員の選出

会長は、白石進氏から井出雄二氏に交代した。また、新たに明記された主事には、井城泰一氏（留任）と玉木一郎氏が任命された。役員交代は別紙5の通りである。

別紙1 平成25年度事業報告

1. 事業報告

(1) 第2回総会の開催

2013年3月28日、岩手大学において開催。

(2) 会誌の発行

第2巻第2～4号を2013年4、7、10月に学会ホームページ上に掲載。

第3巻第1号を2014年1月に学会ホームページ上に掲載。

第2巻冊子体を2014年2月に発行。

(3) シンポジウムの開催

第2回森林遺伝育種学会シンポジウム“今後の種苗供給における林木育種の課題”を2013年3月28日岩手大学で開催。

(4) 大会（研究発表会）の開催

公益社団法人国土緑化推進機構の助成を受けて、第2回森林遺伝育種学会大会（研究発表会）を2013年11月8日（金）、東京大学で開催。参加者71名、発表件数40件。

(5) 森林遺伝育種学会奨励賞の授与。

栗田学（森林総合研究所）と加藤珠里（首都大学）の2名に森林遺伝育種学会奨励賞を授与。

(6) ホームページの更新

農林水産研究情報総合センターのサーバー上の、学会ホームページ（<http://fgtb.ac.affrc.go.jp/index.html>）へ会誌掲載並びに各種情報を更新。

(7) その他

メールマガジンを7回発行。

別紙3 平成26年度事業計画

1. 事業計画

(1) 総会の開催

2014年3月30日、大宮ソニックシティにおいて開催。

(2) 会誌の発行

第3巻第2号～4号および第4巻第1号を学会ホームページ上に掲載。

第3巻冊子体を12月に発行。

(3) シンポジウムの開催

第3回森林遺伝育種学会シンポジウム“ゲノム情報に基づく林木育種の可能性”を2014年3月30日、大宮ソニックシティで開催。

(4) 大会(研究発表会)の開催
第3回森林遺伝育種学会大会(研究発表会)を2014年11月7日(金)、東京大学で開催。

(5) 「森林遺伝育種学会賞」および「森林遺伝育種学会奨励賞」を選考、授与する。

(6) その他

- ・メールマガジンを適時発行。
- ・公益社団法人国土緑化推進機構へ、大会ならびにシンポジウム開催について助成申請を行う。

別紙5 役員交代

会長 白石 進 ⇒ 井出雄二
理事 井出雄二 ⇒ 後藤 晋 総務委員会委員長
吉丸博志 ⇒ 津村義彦 総務委員会企画・表彰担当

石井克明 ⇒ (兼) 高橋 誠 総務委員会庶務担当(庶務一般)
加藤一隆 総務委員会庶務担当(会計)
戸丸信弘 ⇒ 留任 編集委員会委員長
近藤禎二 ⇒ 高橋 誠 出版、広報委員会委員長
渡辺敦史 ⇒ 留任 出版、広報委員会出版担当
吉村研介 ⇒ 留任 出版、広報委員会ホームページ担当
監事 後藤 晋 ⇒ 原口雅人
西川浩己 ⇒ 斎藤陽子
主事 井城泰一 ⇒ 留任
⇒ 玉木一郎(増員)

別紙2 平成25年度決算報告

	項目	予算額	決算額	差引増減	摘要
収入の部	会費	807,000	793,000	△14,000	普通会员115、学生会員8、団体会員11、賛助会員5
	寄付金		26,340	26,340	
	広告費	15,000	0	△15,000	
	書籍販売等	0	54,410	54,410	図書43,018、著作権 11,392
	預り金	80,000	196,000	116,000	前納会費(普通会员23名他)
	前期繰越額	914,045	914,045	0	
	計	1816,045	1,983,795	167,750	
支出の部	出版広報費	693,520	288,836	△404,684	印刷費、配送費込み
	その他事業費	120,000	8984	△111,016	表彰状および盾 8984 大会経費は国土緑化推進機構の助成によった
	管理費	10,000	11,050	1,050	往復はがき 10,000、編集委員会費 1,050
	予備費	50,000	0	△50,000	
	計	873,520	308,870	△564,648	
収支差額		942,525	1,674,925	732,400	次期繰越額(預り金 196,000 円を含む)

別紙4 平成26年度収支予算

		予算額	前年度予算額	増減	備考
収入の部	会費	707,000	807,000	△100,000	普通会员101、学生会員12、団体会員9、賛助会員5
	寄付金	0	0	0	
	図書販売等	50,000	0	50,000	
	預り金	196,000	80,000	116,000	前納会費(普通会员23名他)
	前期繰越金	1,478,925	914,045	564,880	
	計	2,431,925	1,816,045	615,880	
支出の部	出版広報費	300,000	693,520	△393,520	印刷費、配送料込み
	その他事業費	120,000	120,000	0	表彰費 80,000、出版補助金 @8,000×5=40,000
	管理費	15,000	10,000	5,000	事務通信費
	予備費	50,000	50,000	0	
	小計				
	次期繰越金	1,946,925	942,525	1,004,400	(預り金 196,000 円を含む)
	計	2,431,925	1,816,045	615,880	

第3回森林遺伝育種学会シンポジウム報告

日時：2014年3月30日(日) 9:40~12:00

場所：大宮ソニックシティ市民ホール 第3集会室

テーマ：ゲノム情報に基づく林木育種の可能性

話題：

1. スギにおけるゲノムワイドアソシエーション研究
内山憲太郎 (森林総合研究所)
2. 成長形質を対象とした次世代育種の可能性
平岡裕一郎 (森林総合研究所林木育種センター)
3. 成長形質育種の可能性

井城泰一 (森林総合研究所林木育種センター)

4. 発現遺伝子解析による材関連遺伝子マーカー開発の可能性

三嶋賢太郎 (森林総合研究所林木育種センター)

以上、4題の話題提供があり、現在、どのようなゲノム情報が得られるのか、あるいは得られた情報を形質データと合わせてどのように活かして育種を進めるのかといったことについて、活発な討議が行われた。